

# 磐城時報

石城郡磐城町... 印刷所 磐城時報社... 電話 二一四

## 四倉町と大久村の 四年間に亘る紛争

### 松本署長の仲裁で 九日圓滿に解決

石城郡四倉町と双葉郡大久村の漁業組合に一部を負擔させるの境界は山林であるため確然として當然であるといふ事に決定し交渉委員をあげて漁業組合に交渉する事になった。

## 養蠶同業 代議員決定

石城郡養蠶同業組合代議員三十名選挙の結果當選者左の如し(養蠶長高久) 作山源作(江名) 志賀重右衛門(豊間)、岡田市太郎(大浦)、草野熊太郎(赤井)、高秋國太(永戸)、新重郎(泉)、根本義一(渡邊)、永山久助(三阪組合)、芳賀義虎(川部)、植田萬次郎(四倉)、酒井嘉藏(磐崎) 矢吹昇平(平窪)、駒木根忠三(玉川)、木内善次郎(山田)、大和田齊(植田)、木村要次郎(神谷)、佐川剛五郎(入遠野)、吉田辰藏(上遠野)、鈴木長次(草野)、永山菊治(飯野)

## 濱三郡木炭の 最近の活況

### 一日四千俵つづ 京濱地方に送り出す

濱三郡に於ける財界不況と官行呈して来た、この状態を維持し製炭に壓倒され昨年中生産高著更に將來の發展を期するには品るしく減じ検査料も減じたので質の低下を防ぎ改善をはかるの一時は同業組合事務所の經營が肝腎であるといふので組合でへ脅やかされた程であつたが、は来る十五日午前十時から三郡同組合ではその後努めて品質改良検査員を平町事務所へ開き品質をばかつたので京濱地方から質改善に關し打合せをなす事と必要増加し當時移出高三郡をなつた。

## 四倉初町會

### 築港寄附協議

四倉町初町會は十四午前九時開會四倉漁港修築案が縣會を通過し四倉町としては七萬圓の寄附をする事となつたが、この七萬圓の寄附に就て協議した結果同町

## 消防講習會

縣消防講習會は廿三日から廿六日まで平町平警察署に開く

## 山下谷次代議士 有聲座で獅子吼

### 十三日政友部會總會

石城郡政友會では十三日午後一時から平町有聲座で部會總會を開くが當日は本部から山下谷次代議士来平し熱辯を揮ふ筈で、總會後山崎、古川、鈴木三縣議員の慰勞會並に鈴木縣議の支部幹事長就任祝賀會を開く。

## 石城郡に 産業校設立

石城郡町村會總會は十四日開催する事既報の如であるが、當日は郡内に産業學校を設立する事各町村毎に産業組合を設置するの二件を決議し、縣町村長會に建議した上全國的猛運動を起す事になった。

## 平鐵道で 聯合素諾會

平鐵道俱樂部曲部喜多會では十一日午前十時から俱樂部に於て素諾會を催すが番組左の如くである。

## 依然バットが第一位 石城地方煙草の賣行

### 平煙草元賣捌所に於ける去月中

平煙草元賣捌所に於ける去月中の賣上高は口付十六萬八千三百やうな賣行を示し、刻みではな五個(一萬四千六百五十八圓卅)でしこ等緊縮時代は争はれず、四個(一萬四千二百十三圓)とだが、こう世智辛くては專賣百六十個(一萬四千二百十三圓)とだが、こう世智辛くては專賣二十八個(一萬四千二百十三圓)とだが、こう世智辛くては專賣九百六十一個(一萬五千四百八八圓)と、一昨年同月にくらべると十個四十五個(四圓)外國煙草ヶ總額で約五分減少の由で小賣店外の家賃三割下げを要求した萬四千三百五十八圓十錢五厘でにバット一個に一錢のマッチで来た。

## 新祥寺の寒行

相馬郡原町本町平田山新祥寺では恒例により寒入りの當夜より寒行を始め、この頃の寒風も意とせず長老以下の各僧が凍る夜路を經文を高らかに唱ひつゝ町内を廻り丹心寒行に務めてゐる。

## 少年消防隊發會式

相馬郡高平村少年消防隊發會式は八日午前十時同村小學校に舉行した。

## 自動車協會總會

相馬郡原町警察署管内自動車協會及び轉運手會總會は七日午後一時から同署樓上に開催した。

## 降雪と地震

相馬地方では八日の夕方から降り初めた雪は九日に亘りて止まずに降り居る若し今夜も止まぬとせば豫想外の積雪を見るだらう。處が九時頃頃地震があつた。元より強震でないが昔の人の言に故へばなんとか天候の變化を見る徵か。

## 原町常設館便り

原町旭座では日本海々戰廿五週年記念特作小笠原長生閣下の大名家畫「擊滅」其他を九日午後五時より上映した。尚近々中大河内傳次郎、片岡、惠藏出演の「大忠臣藏」と大東亞大作九條武子夫人「無愛華」を上映する筈。

## 家賃値下要求

相馬郡原町借家人山崎新吉外八名は五十四名の借家人を代表して大家主同村松永七之助は十二圓内外的家賃三割下げを要求した。一割二分の値下げを回答した。

## さんのお返り

一九三一年の春を迎へてさんが大いに若返つたといふ超モダン秘話... 人生五十年といふから七十歳に手が届くといふは三歳の童子でも既に老ひたりと直観し敢て「お爺さん」と呼んでも不思議とはしない。殊に功成り名遂げたさんには第一の操縦が肝

常設館便り

▲有聲座 十日寫真替り東照キ  
子作阪東俠陣(第一篇)「浪  
人の群」小唄映畫「會長の娘  
」里見八犬傳」料二十錢  
▲平 館 十日寫真替り松竹映  
畫柳さく子、八雲惠美子、島  
田嘉七、河村黎吉、二葉かほ  
る主演「愛戀序曲」、卯月貞介  
「涙の道化師」、松竹京都作  
「涙」その他、料二十錢  
▲聚樂館 十二日から五日間東  
京歌舞伎名題嵐松五郎、大谷  
紫好一行で開演、初日藝題、  
先代萩全通し、料八十錢、  
六十錢、二十錢

鼻の薬「チクノール」  
平五 山野邊藥局

賀状片々

(一) あきら生  
平六山莊にて 眞木彌吉  
山莊の障子あかるし初日影。  
好問村十好會 吉田青柳子  
參道や雪に明るき初詣で。  
宮嶋の雪に落ちあふ社頭かな  
好問村 齋藤雅山  
神棚の金具さんたり鏡餅。  
破風の雪くづれんばかり初雀  
綿引 東天紅  
また一つ九千萬が歳をとり。  
湯長谷 久田狂水  
雪清く初日を受けた神の森。  
露路で會ふ紋付屠蘇に酔つて  
居る。  
久田氏は川柳雜誌「あけぼの」を  
發刊し、又川柳の句集「花のか  
け」第一輯を出版され、第二輯  
も近日刊行するさうです。  
棚倉町 佐川有頂天  
畏まる顔で社頭の雪をふみ。

玉突競技會

一、期日 一月十一日正午より  
一、會費 金五十錢  
一、會場 ビリヤード一の井  
東京市野崎高代來平曲玉及び千点ゲームの  
演技あり  
主催 ビリヤード一の井

明御 皆々様御待兼の  
久々にて  
東 大歌舞伎  
西 大内巡業部  
當る一月十二日より當地聚樂館に於て開演仕  
候間何卒舊倍之御引立之程伏而御願申上候  
尙愛讀者  
に限り 後  
特等優待  
券を進呈  
仕升  
吉田 新聞店  
磐城 通信社  
東京 毎日新聞平支局  
東京 朝日新聞平支局  
至 誠堂新聞店

美味にして  
強壯の効  
著大  
スポンゲ  
血を  
ふやし  
肉を  
肥やす  
定 價  
三 價  
二 價  
代 理 店  
平 野 山  
町 五 丁 目  
野 邊 藥 局

平看護婦會  
會長 清野キヨ  
平町字南町(電話三〇七番)  
看護婦派出の需めに應じます

油と味噌  
山崎合名會社  
福島縣平町  
電話(營業部専用)一〇番  
(一般用)二七番  
振發東京一九七五番

不景氣蹴飛ばせ  
五圓均一(革靴)自由  
赤、黒、短靴、編上靴でも  
耐久保證券付革靴  
破損(三ヶ月以内新品交換  
破損(十ヶ月は修繕無料)  
平四丁目(マルトモビル内)  
菊地靴店

冬のサロソ  
暖房設置も充分に  
暖かいお飲物  
暖かい御料理  
そして芳醇のカクテルを  
洋食通の季節になりました  
ドーゾ御來店を……  
サロソ  
平町 電話三五二番

外科専門 X光線科  
上田外科醫院  
入院應需  
電話一二九番

炭も揮發油も電氣も使はず  
ホカく温い 入替料(四十日分)  
最新化學の生んだ理想的保温器  
火なし  
特許賣 文化暖爐  
定價(一組)(材料付三圓)  
▼一般家庭の保温用(殊に小兒、老人、病人用に) ▼病院  
にはベットの保温用に ▼自動車にはクッションの保温用  
▼旅館等には浴間の保温用に ▼事務所には椅子の保  
温用に ▼麻雀俱樂部等には座布団の保温用に………  
▼安全と經濟を兼ねた時代の必需品………

販賣店 小野常治商店  
電話百四十四番  
平町 四丁目

度量衡計量器  
吸入酸素器  
關内藥局  
電話四〇番

カキ貝御料理  
カキフライ  
スカキナベ  
右之通り御案内申上ます  
御料理 一の井  
電話一六七番